

## 第23回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会 学術大会 出展レポート

日本介護食品協議会では、今年度についても本学会の企業展示に継続して出展しました。本学会の来場者属性は、摂食嚥下のリハビリテーションに関わる医師、歯科医師、看護師、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、歯科衛生士、管理栄養士など多職種にわたることから、本業界にとっては情報発信機会として非常に重要な位置づけです。今回はこれら職種の来場者が7,000名超参加しました。

出展企業については食品企業の他、医療機器メーカーなど関係企業を合わせておよそ110社が出展するなど、企業展示の規模も非常に大きいものとなっています。食品企業では41社中、本協議会を含み21社の会員が出展しています。

今回、協議会小間では、資料配布と認知度調査を実施しましたが、認知度調査では2日間で220名ほどの回答を得ることができました。以下、調査内容の一部をご紹介します。

Q. UDF（ユニバーサルデザインフード）とは何かご存知ですか？

これについては「知っていた」76.2%、「名前だけは知っていた」13.0%と合わせて89.2%の認知がありました。前回の同学会での調査（平成22（2010）年）においても77%と高いものでしたが、さらに高まった結果となりました。

Q. 利用者さん（の家族含む）への説明で使用している基準を教えてください（複数回答）。

これについては、学会分類2013が36.8%、嚥下食ピラミッド31.0%、UDF19.7%、独自の基準7.7%等との結果で、医療従事職においてもUDF基準が比較的多く使われておりました。

Q. UDFの表示が変更になったことをご存知ですか？

UDFの表示方法は昨年7月以降、区分形状のみの表記へと移行を始めていますが、これを受けて質問に加えました。この結果、32.7%が「知っている」との回答でした。変更の公表からおおよそ1年半ですが、現状比較的多くの方々へのご理解が進んでいるようです。本件についてはこれからも周知を進めてまいります。

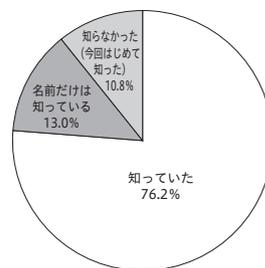
この他、協議会では一般口演において「ユニバーサルデザインフード（UDF）の美味しさと食べや

すさに関する検証」のタイトルで技術委員会と日本大学短期大学部との共同研究事業の成果を発表しました。演者は同学助教の中川裕子先生におつとめいただきました。

会 期：平成29年9月15日（金）・16日（土）

会 場：幕張メッセ（千葉市）

来場者数：約7,000名（主催者発表）



UDFとは何かご存知ですか？



企業展示会場の様子

### 【会議、催事等の予定】

11月15日（水）第4回技術委員会（オリンピック神田会議室）

11月28日（火）第3回容器包装研究会（本会会議室）

### 【UDF商品登録状況（1,946品目・9月末現在）】

	区分1	区分2	区分3	区分4	とろみ調整	合計
乾燥食品	0	1	12	0	86	99
冷凍食品	282	237	654	28	0	1,201
常温食品	140	163	219	123	1	646
合 計	422	401	885	151	87	1,946

### 【会員の異動（9月）】

加入1社：(株)ガイア  
計71社（9月末現在）。

◎日本介護食品協議会では会員企業を募集しています。協議会とユニバーサルデザインフードについては事務局までご連絡ください。

事務局：東京都千代田区神田東松下町10-2

翔和神田ビル3階

TEL 03-5256-4804

FAX 03-5256-4805

<http://www.udf.jp/>